

つなぐ棚田遺産 望海田鳥の棚田

— 福井県小浜市 —

兵庫県西播磨県民局光都土地改良センター 合田 弘

1. はじめに

表紙写真、写真-1は、毎年5月中旬ごろに、福井県小浜市の隣町である若狭町で開催される日本マーチングリーグ 17大会のひとつであるウォーキング大会「若狭・三方五湖ツーデーマーチ」に参加する際に利用する国道162号線沿いから「田鳥の棚田」を活用したイベント「たがらす棚田キャンドル」の風景を撮影したものです。



写真-1 若狭湾に面した棚田キャンドル
(今ではLEDキャンドル3千個)

2. 田鳥の棚田の概要

小浜市は福井県の南西部、若狭のほぼ中央に位置しています。北は国定公園の指定を受けた若狭湾に面し、海岸線の一部はリアス式海岸となっています。南は京都北部一帯に連なる東西に走る山岳で、一部は滋賀県と境を接しています。

また、日本海を挟んで朝鮮半島に向かい、昔からシルクロードの日本の玄関口として、「鯖街道」などを経て、近江・京都・奈良へ大陸文化・南蛮文化を伝達する経路となっていました。

(1) **田鳥の棚田** 田鳥地区は、小浜市の北東部に位置し、若狭湾に面した急傾斜地となっており、約20戸の兼業農家主体で守っている棚田地域です。

この地域では棚田を活用した積極的な地域振興に取り組んでおり、田植え後の5月と収穫後の9月には棚



写真-2 讃岐大橋から田鳥の棚田と半島を一望

田の畦畔にキャンドルを灯す「棚田キャンドル」を実施しています(写真-1)。

田鳥地区へは、矢代から、これが国道?と首を傾げたくなるほどの悪路でした。1991(平成3)年から着工し、阿納尻^{あのじり}、田鳥間の道路整備事業が完了した2009(平成21)年、田鳥に待望のトンネルと大橋が開通したのです。矢代から奈胡崎トンネルをぬけると明るく視野が開け、讃岐大橋(通称かんにゃ大橋)がかかり、地上35mから見る眺望は実に素晴らしい景色です(写真-1, 2)。

(2) **田鳥の圃場整備** 1985(昭和60)年から3年間に行われた大規模な圃場整備(地区面積3.9ha, 共同施行)により、500枚程度の小さな田んぼから整然とした現在の姿、76枚の棚田になり作業効率が格段と上がりました(写真-2)。

小倉百人一首にある二条院讃岐の歌「我が袖は潮干に見えぬ沖の石の人こそ知らね乾く間もなし」にある「沖の石」は、若狭湾のほぼ中央に位置する田鳥半島先端の黒崎から約2km沖の岩礁「沖の石」のことではないかといわれています。

海沿いの棚田に御所平の地名があり、讃岐の住んだ館跡といわれています。今は大きな礎石が残り、石柱の歌碑が建っています(写真-3)。

(3) **田鳥西部農地保全組合** 農業従事者の高齢化、若者の減少に加え、野生鳥獣による被害が増加し



写真-3 御所平に立つ石碑「二条院讃岐姫居跡跡」

たことにより、営農意欲が低下し農地や水路の維持管理が困難になりました。そのため、地域全体で支えあって棚田の保全を推進する目的のもと、合意形成がなされた集落協定により、2000（平成12）年に「田鳥西部農地保全組合」が発足しました。

取組み概要としては、①集落協定参加者と集落有志でつくる「たがらす我袖倶楽部」が明かりのない若狭湾に面した棚田を利用して、2,500個のキャンドルで彩る「たがらす棚田キャンドル」を毎年春と秋に開催、棚田で収穫した米やおにぎりを販売、②棚田など地域の自然とくらしをテーマとした「うちとみフォトコンテスト」を実施、入賞者には棚田米を賞品として提供、③これらのイベントを通じて都市農村交流活動の展開、棚田の価値観を地元農家で共有し、棚田保全活動の意欲向上を目指しています。

3. たがらす棚田キャンドル

「たがらす棚田キャンドル」は、毎年春と秋にたがらす我袖倶楽部や田鳥西部農地保全組合が中心となり、「あなただけのキャンドルを点灯しませんか」、「棚田キャンドル準備作業を手伝ってください」と呼びかけ、点灯当日3時から準備に取り掛かって、あの美しい海と棚田が織り成す風景、「棚田を彩るキャンドルのにぎわい」を醸し出しています（写真-4）。



写真-4 「たがらす棚田キャンドル」案内看板等

2022（令和4）年、田鳥にある棚田、通称「かんにゃ」が、地域住民の積極的な農地の保全活動や棚田を核とした地域振興のための取組みなどを評価され、農林水産省が優良な棚田を選定する「つなぐ棚田遺産」に認定されました。

田鳥の棚田「かんにゃ」の呼び名は、天皇の官女を務めた二条院讃岐姫が田鳥に住んでいたことと、讃岐姫の別邸を意味する言葉「仮屋」に由来するとされるふたつの説から名付けられています。

「かんにゃ」は、若狭湾を望む場所に位置しているので、時間帯によって海と棚田の織り成す美しい姿を私たちに見せてくれています（写真-1, 2）。

4. 若狭・三方五湖ツーデーマーチ完歩

毎年5月中旬ごろに、福井県小浜市の隣町である若狭町で開催される日本マーチングリーグ17大会のひとつであるウォーキング大会「若狭・三方五湖ツーデーマーチ」について紹介します。

(1) 日本マーチングリーグ 日本マーチングリーグは、(一社)日本ウォーキング協会などが主催で、毎年2月から11月にかけて、北は北海道から鹿児島県まで、全国17会場でウォーキング大会が開催されています。

①鹿児島県指宿市、②千葉県南房総市、③熊本県八代市、④岡山県倉敷市、⑤埼玉県さいたま市、⑥福岡県久留米市、⑦長野県飯田市、⑧福井県若狭町、⑨鳥取県倉吉市、⑩北海道北見市、⑪山形県遊佐町、⑫愛媛県今治市、⑬埼玉県東松山市、⑭兵庫県加古川市、⑮山梨県富士河口湖町、⑯神奈川県小田原市、⑰東京都港区・江東区・中央区、2～3日間に2～5コース、1日5～50kmを歩く大会です。

(2) 神秘の湖「三方五湖」 発着会場を若狭さとうみパークとし、北コースとして、神秘の湖「三方五湖」と「福井県年縞博物館」や「若狭三方縄文博物館」を周る5～30kmの4コースからエントリーして歩きます（写真-5）。



写真-5 三方五湖をめぐるクルーズ船



写真-6 若狭鯖街道熊川宿の街並み



写真-8 現役の漁師が営む宿の新鮮な海の幸

(3) 「若狭鯖街道」熊川宿 南コースとして、「丹後街道・田園」と「若狭鯖街道熊川宿」を周る5~30 kmの4コースからエントリーします。熊川宿は若狭と京の都を結ぶ物流の拠点として繁栄した宿場町です。街道の起点は小浜市のいづみ町商店街、終点は京都の出町で、小浜市と若狭町の文化財は日本遺産「御食国若狭と鯖街道~海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群」に認定されています。2024(令和6)年7月には全国初日本遺産プレミアムに選定されました(写真-6)。

(4) 夕日の宿 小浜市田鳥の棚田に一番近い隣町の若狭町世久見の宿が私の常宿です。この美しい夕日が海に沈みこむまでに、現役の漁師がつくる「新鮮な海の幸」を頂いて、車で約15~20分、リアス式海岸線沿いを西へ、「たがらす棚田キャンドル」を鑑賞に訪れます(写真-7, 8)。



写真-7 若狭海岸に沈む夕日がきれいに見える宿から

5. おわりに

地域の棚田「かんにゃ」を守ることを目的に結成された田鳥西部農地保全組合やたがらす我袖倶楽部の代表の方々は「みんなで棚田を守って、みんなでお米を作る。そして、多くの人に田鳥を知ってもらい、来ていただけることで、ふるさとの活性化につながればうれしい」と思いを寄せられています。

訪ねてみませんか!? ハッとする風景を!!

参加してみませんか!? ライトアップ棚田へ!!

この表紙写真由来を作成するに当たり、福井県小浜市田鳥の棚田に関する書類等の情報提供やアドバイス等、国の名負うた大学の後輩の方々へこの場を借りて御礼、感謝申し上げます。

最後に、ひとこと、歩かなければ歩けなくなる。

さあ、まち歩きを始めましょう!!

参考文献

- 1) 倉谷千恵子：内外海の記憶(2013)
- 2) 関西電力(株) 原子力事業本部, 地域共生本部：新わかさ探訪(2005)
- 3) 堀越一孝：田鳥西部農地保全組合, 小浜をまもる風景2, NEST INN OBAMA(2020)